

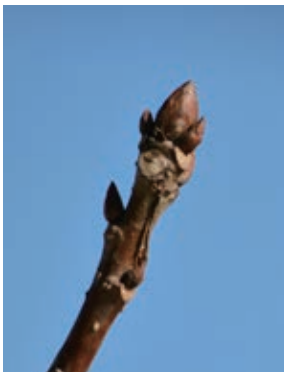
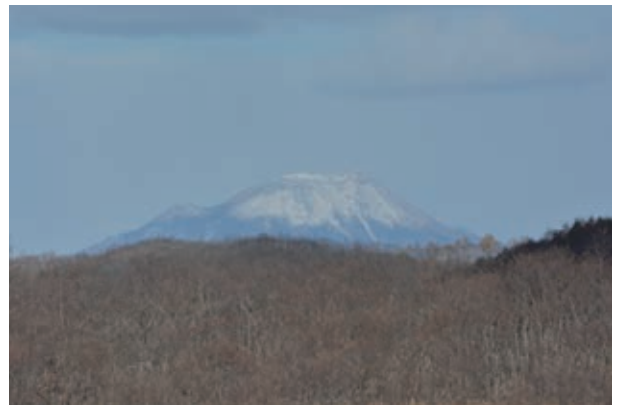
2016 年 11 月号

11 月 15 日 (火) 発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 242



一気に冬の到来か…

すっかり葉が抜け落ちた木々。でも、実だけはしっかり残して風や鳥たちが運んでくれるのを辛抱強く待ちます。

好天続きの 10 月から一転、11 月は平年より寒い日が連続し、一気に秋が通り過ぎたようです。例年になく早い積雪は、道民を慌てさせました。阿寒の峰々も真っ白に雪化粧。今年も冬が到来です。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



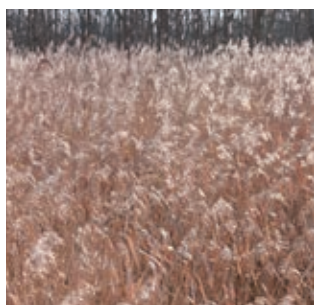
～温根内探勝木道周辺の自然～



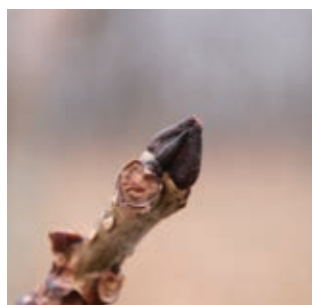
【ヤチボウス】
カブスゲなどの叢生するタイプのスゲがこのヤチボウスを形成します。温根内では高さ数十cmのものが多く、周囲の草が枯れ、目立つようになりました。



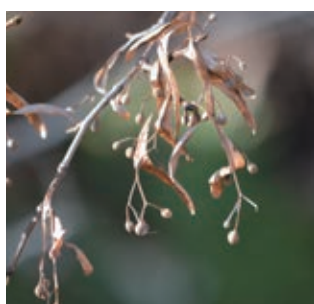
【ドクゼリ (根茎)】
セリ科 毒芹
鮮やかな緑色の根茎が水面に浮いています。養分を蓄え来年まで越冬します。わさびにも似ていて誤食する事故も。猛毒注意。



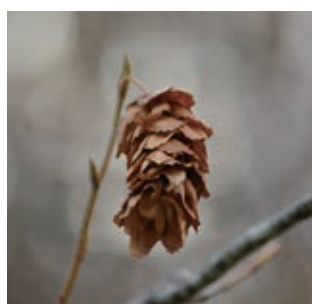
【ヨシ】
イネ科 葦・葎など
釧路湿原の8割近くの面積を占めるのがこのヨシ湿原です。朝日、夕日、強風、そよ風、積雪、気象条件によって様々な表情で迎えてくれます。



【ヤチダモ (冬芽)】
モクセイ科 谷地櫛
この時期は木々の冬芽の観察もお勧めです。本種は木道入口付近に生えていて、円錐状の黒い頂芽と呼ばれる部分が特徴です。



【シナノキ (実)】
シナノキ科 科の木
苞葉と呼ばれていた葉が落下する際、プロペラのようにクルクル回転しながら果実を遠くへ飛ばします。鶴居軌道沿いに見られます。



【サワシバ (実)】
カバノキ科 沢柴
初夏の頃からホップのような実をつけていましたが、この時期は周りの葉が抜け落ちて実だけが目立っています。

○表紙の写真 上: サワシバの実 中右: 積雪した雄阿寒岳 中左: コガネギクの実 下: ミズナラの冬芽

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

温根内周辺を賑わせていたおなじみの夏鳥たちは姿を消し、ツグミ、マヒワといったこの時期にやってくるメンバーに交替しつつあります。また、ハシブトガラなどのカラ類やエナガは、毎日元気に飛び回っています。ビジターセンターでは無料で双眼鏡を貸し出しています。お気軽にご利用ください。



【エナガ】 留鳥
エナガ科 柄長
十数羽の群れで林を移動します。ファンの多い野鳥で、時折、VC周辺にも訪れてくれます。北海道の種は亜種シマエナガです。



【セグロセキレイ】 夏鳥
(一部越冬) セキレイ科
鶴居軌道跡の水辺にいる時があります。ハクセキレイより顔が黒く鳴き声も異なります。数少ない日本固有種の鳥です。



【オオハクチョウ】 旅鳥(一部越冬) カモ科 大白鳥
隊列を組んで飛ぶ姿が早朝によく見られます。「フォ、フォ・・・」という声が遠くから聞こえて来たら上空を見上げてみましょう。



【マヒワ(オス)】 漂鳥
アトリ科 真鶺鴒
ハンノキの実をついばむ群れがいました。夏は山で繁殖し、冬に平地に降りてきます。オスは頭が黒く、顔や胸の黄色が鮮やかです。

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥(10月15日～11月14日) ※和名は日本鳥類目録第7版の順
■ヒシクイ■オオハクチョウ■マガモ■アオサギ■タンチョウ■トビ■ノスリ■コゲラ■アカゲラ■モズ■ハシボソガラ
■ハシブトガラ■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■ツグミ
■ノゴマ■ノビタキ■セグロセキレイ■アトリ■マヒワ■ベニマシコ■アオジ

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆コラム 新人指導員奮闘記① ～巡回は指導員の特権？～☆☆☆

温根内ビジターセンター 指導員 藤原伸也

「もっと自然を知りたい」という思いから、私がここ温根内VCで勤務し始めてから半年が経ちました。以前の東京での生活からガラッと環境が変わり、周囲の人に支えられながら指導員として勉強している毎日です。

温根内木道はご存知の通り、周回コースになっています。指導員の役割の1つとして、この木道の巡回があります。このような「日々同じところをぐるぐる回る」という作業は、人によっては単調で退屈に思われるかもしれませんが、今回はこの巡回作業について少しお話をしたいと思います。

私はまだ半年間の温根内の姿を見てただけですが、とにかく感じたことは、季節の移り変わりが明瞭で、目まぐるしかったということです。正直なところ、花の時期を見逃してしまった植物もいくつかあります。個人的に最も勉強になったのは、同じところを巡回することで、自然の種がどの時期、どの場所・環境で、どのくらいの期間咲いているか(野鳥であれば鳴いているか)、といったことがとてもよくわかってきたことです。普段から自

然に親しんでいる人にとっては、「なあんた、そんなことか」と思うかもしれませんが、しかしながら、ここに来る前までは、こういう当たり前とも思える自然の営

みを感じることはあまりできませんでした。それは、自然に触れる「頻度」が全く違ったからだと思います。

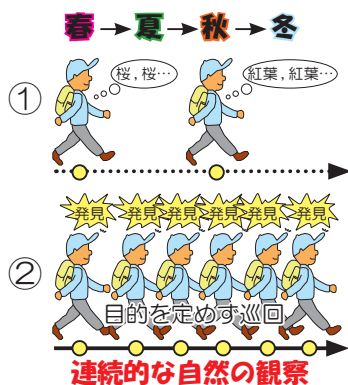
以前の環境では、断片的な自然(例えばある日の公園に出かけた時の風景など)にしか自分は触れていなかったと思います。でもここ温根内に来てからは、毎日のように巡回するため、自然を時間的・空間的に連続したものとして観察できています。

例えば都会に住んでいる時は、花や紅葉の時期を予め知った上で、それを見る目的で公園や野山に出かける場合が多いと思います(次頁図①)。一方、同じ通路を日々巡回する作業は、基本的には目的を定めずに歩きます。それに加え、巡回頻度が非常に多いです。そのため、客



～カメラ撮影も修行中！～

観的に自然の「移り変わり」を目撃することができ、また予期しなかった発見をすることもよくあります(図②)。これが以前までの私の住環境との大きな違いだと思います。そして、このような観察が仕事としてできるのは、まさに指導員の「特権」かもしれないと思えるよう



になりました。

普段から自然に囲まれて、野山を毎日散歩している方にとっては、今まで書いたことは当たり前過ぎる感想かもしれません。でも、それくらいこの半年間は私にとっては新鮮で、当たり前ではなかったのです。

この魅力を感じてもらうには足しげく温根内に通っていただくのが一番ですが、自然の楽しみ方は人それぞれだと思います。訪れたことのない方は、まずはこの釧路湿原をありのままに感じていただければと思います。



～視力が改善し、眼鏡が不要になりました♪～

☆☆☆☆自然ふれあい行事が開催されました☆☆☆☆



○ザリガニウォッチング2 ～ニホンザリガニ編～ 参加者：9名

在来種のニホンザリガニについて学び、実際に見つけに行く行事を行いました。最初にニホンザリガニの生態と外来種の他のザリガニとの違いなどについて勉強し、その後VC周辺の湧水地へ移動して参加者全員で捕獲を試みました。残念ながら捕獲できたニホンザリガニは1匹でしたが、周辺ではトゲウオの仲間やヨコエビなど、多くのいきものを見つけることができ、ニホンザリガニがとても貴重な存在であるということと、その棲息環境の大切さが実感できたようでした。(講師：本藤泰朗)



○晩秋の湿原ハイク 参加者：7名

パークボランティアの高嶋氏を講師に迎え、晩秋の温根内周辺の自然を観察する、湿原ハイクを行いました。花や葉がほとんど枯れ落ち、一見何も無い湿原のようでも、葉の落ちた樹木はむしろ樹形がよくわかり、樹木ごとの特徴が理解しやすいことなど、この時期ならではの観察ポイントを高嶋氏から教えていただきました。ハイクの中では、今年一年の植物の開花時期や気象の傾向などについても振り返りつつ、冬を前にした湿原の姿を参加者全員で満喫できた様子でした。

☆☆☆☆イベントのご案内(12月) 事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪初冬の湿原ハイク～植物の越冬作戦を探る～

〔日時〕12月4日(日) 10:00～12:00 〔定員〕10名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

これから本格的な冬を迎える釧路湿原。全てが枯れてしまったように見える湿原では植物たちが様々な方法で厳しい冬の準備をしています。そんな植物たちの越冬作戦を観察します。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪リースを作ろう

〔日時〕12月3日(土) 13:00～15:00 〔定員〕10名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕500円(材料費)

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～冬季開館時間について～

冬期間(11/1～3/31)は開館時間が変更になります。冬季開館時間は10:00～16:00です。ビジターセンターご利用の際にはご注意ください。なお、冬期間は日没が早いので、木道をご利用の際は時間に余裕を持って暗くなる前にお戻りください。街灯等は一切ありませんので、真っ暗になり危険です。

月刊 温根内通信 No.242

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://city.hokkai.or.jp/~kk946/>

fFacebook: 温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間: 10:00～16:00(4月～10月は17:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料